平成 30 年度 第 2 回政策討論会第一分科会要点記録

日 時 平成 30 年 8 月 8 日 (水) 午前 10 時 00 分～11 時 00 分
場 所 第一委員会室
出席者 池内 矢一 (座長)
岩崎 雅秋 (副座長)
澤田 和代
南 加代子
井舎 英生
前田 将臣
今口 千代子
鳥居 宏次
欠席者 稲田 悦治

○2 回目は岸和田市のこどもの安全・安心 見守り活動の現状把握の為、
学校管理課長・学校教育課長・生涯学習課長を招へいし、現状の説明と
質疑をしました。以下三課の要点です。

(学校管理課) ①「見守りボランティア」・・・登校日の午後の 4 時間、1 校
当たり 1 時間 500 円で校門の所で来校者の確認や校内の見守り等を行って
いる。3 校区では、現在も登録者がいない。②「通学路の整備要望」・・・平
成 24 年から「岸和田市通学路安全推進会議」を立ち上げ、各学校からの通
学路に対する整備要望に対しての回答を行い、毎年道路管理者、警察、学
校関係者、教育委員会のメンバーで危険個所の合同点検を行っている。③
「ブロック塀の安全対策」6 月 18 日に発生した大阪北部地震により、ブロ
ック塀が倒壊し登校中の女兒が倒れたブロック塀の下敷きとなり亡くなり
ました。それを受けて、翌日の 19 日から学校園施設のブロック塀の緊急点
検を 22 日までに完了。点検結果にかかわらず今年度は夏休み中に、道路面
に面した学校園のブロック塀を全て撤去しフェンス等に更新し、平成 31
年度には、民間敷地等との間にあるブロック塀の改修を行う。

(学校教育課)「通学路巡回パトロール」・・・青色回転灯を点灯させ、安全
確保及び注意喚起の放送を流しながら、市内を 5 つのブロックに分け、曜
日ごとにブロックを割り当て、一週間で市内全域を巡回する。学校園や警
察等から不審者情報が寄せられた際には、予定を随時変更し、不審者が出
現した地域を重点的に巡回する。

(生涯学習課)「岸和田市子どもの安全見守り隊」・・・平成 17 年度から、市
内において全小学校区に設置し、地域のボランティアの方々や PTA の協力
を得ながら、子どもたちの登下校時の通学路における子ども見守り活動
を行っている。見守り隊数は、平成 28 年度 3,596 人、平成 29 年度 4,058 人
で、無償(ボランティア)です。最近では、地域での協力をいただける方々
が 70 歳代であっても働いている人も多いために、ボランティアを集めるこ
とに苦心している。

<各委員からの質疑や意見> ○見守り隊を実施する前と後で、被害にあ

った件数などは減っているのか？（効果があり、減少傾向）被害の件数はどれくらいあるか？（平成 29 年度で 64 件）被害の内容は？（不審者からの声かけなどが多い）○子どもの安全見守り隊について、下校時は立っていないところがあるが、その対策は？（PTA にお願いする等その学校にまかせている）市民協で運営している青パトは把握しているのか？（把握していない）○小学校見守りボランティア実施校が 21 校、未実施校が 3 校である。実施しなくても「見守り」ができていると考えると他の 21 校も実施しなくても「事足りる」と言えるのでは。青パトは、全小学校区 24 を僅か 1 台で巡回している。青パトは、狭い通学路にも入って来て、通学途上の子どもに危険であるので、侵入しないように注意をしたことがある。青パトの効果は疑問であり、なくても良いと思う。生涯学習課は、「子どもの安全見守り隊」の傷害保険加入を担当しているのみである。子どもの安全見守り隊活動そのものを主管している部署がないのを改めて確認した。24 校区で子どもの安全見守り隊活動の人員数を比較すると、最小が 5 名、最大が 630 名と乖離が大きすぎる。課題があると思うが、現時点では見守り活動を主管している部署がないので、行政の考えを聞くことができない。これは問題である。○市立学校園のブロック塀の安全対策について緊急性の高いブロック塀は、保護者や学校周辺住民の不安解消を最優先にして、夏休み期間に工事を実施する。市内の 19 校園にある 48 箇所、2,386 m を予算 1 億円余りで早急に実施する。平成 31 年度以降は、道路に面していない、あるいは隣地境界にあるブロック塀、31 校園にある 60 箇所、2,237 m を 9,390 万円の予算で実施するとありますが、出来るだけ早期に実施されるようお願いします。

<まとめ>

○見守り隊には、いろんなパターンがあります。来月は本日の話を受けて各々が問題点を出し合い、課題を抽出したいと思いますのでよろしくをお願いします。